



带状疱疹について

ながけクリニック

看護師長 大森 昌代

带状疱疹とは？

水痘・带状疱疹ウイルス（水疱瘡の原因となるウイルス）が神経節内に潜伏し、何らかの誘因で再活性化して発症したものが带状疱疹です。誘因としては、過労や免疫力の低下などがあります。50歳以降で発症することが多く、高齢になるにつれ発症のリスクが高くなると言われています。ウイルスが再活性化されると神経節内で増殖して、赤い丘疹や神経の走行に沿って帯状に出現します。他の人から感染して带状疱疹になるわけではありません。

症状は？

通常、体の左右どちらかに紅斑が帯状に広がり、その上に小さな水膨れ（水疱）ができます。带状疱疹の病名は、このような皮膚症状の特徴に由来しています。症状がよく現れる部位として肋間神経のある胸や背中が挙げられますが、顔、下腹部、腕、脚、お尻など、体のどこにでも出現します。

带状疱疹による発疹は**ピリピリ**や**チクチク**するような痛みを伴います。

心筋梗塞の際は左肩や背中に放散痛と言われる痛みを生じることがあるため、胸部の带状疱疹は時に心筋梗塞との鑑別が難しいことがあります。

合併症は？

頬、顎から肩にかけて三叉神経に沿った部位に带状疱疹を発症した場合、同側の顔面神経

麻痺や味覚異常、内耳障害（難聴、めまいなど）を伴います。また、額から臉にかけて帯状疱疹を発症した場合、結膜炎や角膜炎などの症状を引き起こすことがあります。重症化すると視力低下やごくまれに失明に至ることもあります。上肢に帯状疱疹を発症した場合、腕を挙げるのが出来にくかったり、筋肉の萎縮を伴うこともあります。腹部に帯状疱疹を発症した場合、腹筋の麻痺による腹部の膨隆や便秘を伴うこともあります。

治療方法は？

帯状疱疹は抗ウイルス薬（アシクロビル、バラシクロビル、ファムシクロビル、アメナメビル）の全身投与（内服または点滴投与）を出来るだけ早期に開始する事が大切です。皮疹の出現から3日以内に治療を開始するのが望ましいとされています。しかし、透析患者の場合、薬が何でも使えるわけではありません。もしも、クリニック以外で処方された場合は、必ず、透析医師に相談してから薬の内服、点滴治療を受けましょう。

水膨れには外用薬（塗り薬）を塗布します。

痛みはどうしたらいいの？

帯状疱疹の出現している急性期の痛みには、アセトアミノフェンやロキソプロフェンが有効とされています。大部分の痛みは皮疹の治癒とともに消失しますが、治癒後にも痛みが残る場合（帯状疱疹後神経痛）があります。その際は、プレガバリンや、ミロガバリンベシル酸塩製剤などの投与も検討しますので透析医師に相談してください。

予防法は？

帯状疱疹の予防にはワクチン接種が有効です。50歳以上を対象としており、ワクチン接種により水痘・帯状疱疹ウイルスへの抵抗力を高め、病気の発症や後遺症を予防します。気になる方はスタッフに相談してください。

帯状疱疹に罹った時の生活の注意点

- ① 普段通りバランスの良い食事を心がけ、睡眠をしっかりととりましょう
- ② 体力を消耗するような運動は避けましょう
- ③ 皮疹が出ている部位は強く擦ったり、掻いたりしないようにしましょう

学会・研修会で発表しました

10/12（土）第109回 岡山透析懇話会（岡山）

『循環動態安定のための除水方法の検討』

発表：臨床工学技士 村田 竜司

2024年度下期 ながけクリニック腎友会・

岡山県腎臓病協議会への入会のご案内

当会は、腎臓病患者の医療・生活条件の擁護と確立を目指し、会員相互の交流と生活環境の向上を図ることを使命としています。

長期にわたるコロナ禍においても、岡山県透析医部会・県市行政と連携し、感染予防対策やワクチンの早期接種、などに取り組んでまいりました。また、今後の災害に備え、「自分の命は自ら守る」をスローガンに掲げ、連絡網体制を整備するための努力も重ねています。皆様、私たちの医療と社会保障制度を守るため、腎友会への入会をお願いいたします。

透析患者を取り巻く環境は年々厳しさをましており、要望活動を通じて医療・社会保障制度の改悪阻止に取り組めます。より良い医療と制度の継続、患者・ご家族のQOL向上を実現するためには、皆様の団結が不可欠です。一人ひとりの入会が大きな力になります。

ぜひ、腎友会（患者会）への入会と、その力添えを心よりお願いいたします。

『ひとりの入会が、大きな力になる』



2024年 11月

令和6年

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 文化の日	4  血液検査	5  血液検査	6	7	8  栄養相談	9
10	11  栄養相談	12  栄養相談	13  レントゲン	14  レントゲン	15	16
17 清陽会 ゴルフ コンペ	18  血液検査  栄養相談	19  血液検査  栄養相談	20  栄養相談	21	22	23 勤労感謝 の日
24 バス旅行	25  レントゲン  栄養相談	26  レントゲン  栄養相談	27	28	29	30

編集後記

今シーズンの新型コロナウイルスワクチンの定期接種が、10月から始まっています。重症化や死亡のリスクはインフルエンザを上回り、ワクチンによる予防が重要と言われています。また、後遺症の予防効果もあると言われています。

同じく10月より、インフルエンザワクチン接種も始まりました。インフルエンザは非常に感染力が強く、体内に入った1個のウイルスが24時間後には100万個に増殖すると言われており、日本では毎年約1千万人、約10人に1人の割合で感染していると言われています。ワクチン接種や手洗いなど感染対策の励行をお願いします。

参考：厚生労働省 編集事務局

医療法人 清陽会

ホームページ: <http://www.k3.dion.ne.jp/~nagake-c/>

事務局： ながけクリニック 岡山市中区中井 454-1 086-207-6788
東岡山ながけクリニック 岡山市中区土田 805-1 086-278-0122